

New Yorkへ行きたいか?かつて高視聴率のクイズ番組があった。子供心にいづか行つてみたいと思つたものだ。幸運に恵まれ米国大学院へ単身で留学。約3年、西海岸のサンフランシスコで過ごした。

2005年1月18日、ブッシュ政権2期目の就任式の2日前、一人SFO空港発デンバー乗り継ぎでレーガン空港到着。GMを借りワシントンDCへ。経由便は安い。



首脳訪米とは大違い。15時頃なのに薄暗い。3時間の時差だ。

19日、気品ある騎馬兵も加わり準備が進むホワイトハウス、議事堂。10の Smithsonian 博物館群を1日で回った。人生の中で一番歩いた日だ。人口の過半数がアフリカンアメリカンの街。持て余した男たちがたむろする街中、交差点で一人クルマ

の信号待ち。週末の東名高速の渋滞より長く感じた。

20日、アーリントン墓地を参拝後、I-95で北上、約4時間半でNYCへ。人が次々と横断する夜のマンハッタンドライブ、絶叫マシンで有名な某テーマパークよりエキサイティング。グラウンド・ゼロを経由し、ハドソン川対岸のNew Jersey

憧れのニューヨーク

—菅 伸彦—

トム・ハン

erseyに宿泊。ホテル代が安い。21日、アクセントが伝わらず、迷つた末にようやくエンパイア・ステート・ビル屋上へ。満州事変の年にこんなものが造られた国、凄い。フードパークで顔を覆い、かのサブウェイで旧ヤンキー・スタジアムへ。得も言われぬ恐怖感。

22日、自由の女神の後姿を対岸から眺め、雪が舞う中JFK

国際空港へ。大豪雪で全便キャンセル。外はマイナス10度。空港内のイスとパイベッドで2連泊。中南米使の多いターミナル9、アジア系は見かけずペルに帰る女性と長話。雪がやまらず、計15時間、三度チケット予約。緩慢な所作で手際の悪い空港スタッフに抗議する旅行者。通りかかったCIAに質問、今は

オフタイム、スルーされた。日本との違いを体感。

クス主演、2004年公開の映画「ターミナル」をアチ体験。

24日、何故か別室で手荷物検査された後、ダラス経由でSFO空港へ。空が青い。シャワーを浴びる、ベッドで寝る、荷物番不要、こんな幸福感、なかなか味わえない。クラスメートにこの話をした。冬の北東部には行くな。西海岸の常識らしい。
(オリジナル設計社長)